

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 久田松春樹SAA委員

◆四つのテスト 中西祥之さん

◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶

柳龍一郎会長



みなさん、こんにちは。本日の卓話は、長崎市まちづくり部より片江伸一郎部長様と、松尾秀幸長崎駅周辺整備室室長様をお招きしまして「今後の長崎市のまちづくりについて」お話して頂きます。実は会場に入りまして、卓話者のお名前を見て「あいたー！」となりました。実は片江部長様は大学の同級生なのです。今日は私の若い頃のしょっぱい失敗談をしようと思っておりました。同級生の前で恥ずかしいのですが、昔話を聞いて下さい。学校を卒業して私はある全国展開している住宅メーカーに入社しました。聞こえはいいかもしれませんが、工事部の直営部隊の監督さんです。毎日、大工さんや屋根やさん、左官さん、etc.厳しい上司のもと、交渉段取りを丁稚奉公よろしくやっておりました。今想えばいい人達ばかりでしたが、職人さんとのやり取りは全くもって思う通りにならないものばかりでした。上司は仕事に厳しく、引渡し時の残工事ゼロは勿論、施主検査手直し指摘無しがモットーでしたので、私も責任重大でした。大きい声では言えませんが、2か月、3か月休み無しなんて当たり前の時代でした。そんな中入社して1年目頃の物件で、引き渡し前日まで手直し工事に追われる現場がありました。そこで私は一枚の大きな親子ドアの建付けを、いやがる建具屋さんにさせる事が出来ず帰ってしまったのです。居間には横になったドアと私一人。自分で何とかしようとしたのですが、素人の私に取付できるはずがありません。気が付くとどれくらい経ったのか、部屋の中は真っ暗になっておりました。引渡し前だったので照明はついていなかったのです。私はとぼとぼと現場近くの電話ボックスから、その現場の棟梁の家に電話しました。驚いた棟梁が「まだ現場におったとか！わかった

今すぐいっちゃるけん！」これで何とかなんとか思ったのではなく、その優しさに私は電話ボックスの中で泣いてしまいました。暫くすると棟梁が軽トラで駆け付けてくれました。「いいけんお前これ食べとけ。まだ晩飯食うとらんやろが。」少し冷めたマクドナルドでした。暫くすると、部屋の奥から棟梁が「いやー、しーえん。明日〇〇さん(←私の上司)に言ってなんとかしてもらわね。」と結構明るく出てきたのでした。私の記憶では、翌日上司が手配して残工事・指摘事項無しで無事引渡しは終わりました。さてこの棟梁は、年は私より一回り位年上の工業高校出で、サラリーマン経験もあり、その後社員大工として入社されました。他の大工さんからのやっかみもありましたが、明るく前向きでその後入った若い社員大工の面倒もみておられました。その方が亡くなった連絡が来たのは、私が家業を継ぐ為長崎に帰ってからです。慌てて葬儀に参列して知ったのは、熊本のゴルフ場で倒れたとの事。その年の年賀状には熊本支店転勤の報告と「柳君、熊本はゴルフ天国です。」本当にゴルフ場で天国に逝ってしまいました。しゃれになりません。それでも私はこの方を思い出したたびに、この方がそうであったように若い人達に「明るく優しく前向きに」接しようと思っています。それでは本日の例会もよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

山田孝二幹事

①例会変更のお知らせ

長崎みなとRC 1/30休会を1/24(火)に変更

②ロータリー財団寄付確定申告用領収書の件

2022/7～12月分メールボックスに配付

③理事会報告

●高島植樹の件 川瀬元会員より「グラバーの森」づくり計画案の検討 西クラブからの寄付依頼であったが、基本植樹された木は長崎市に寄贈してる為、否決

●米山奨学生世話クラブ(4月～)並びにカウンセラーの依頼の件 カウンセラーをしてくれる人がいれば例年通り世話クラブを受ける。本来ならいろんな方がカウンセラーになった方がいいと、現カウンセラーの牧会員より話が合ったが、引き続き牧会員にカウンセラーをお願いした。

●会員拡大進捗状況報告 山田理事から今月に関してはアテンドはなし。過去も含め状況を一覧表にした方が他の方もわかるのでは？との意見も。

◆期首会員数 35名 ◆入会者 2名 ◆退会者 1名 ◆現在 36名

◆1/24例会出席 18名 ◆免除者出席 7名 ◆欠席 18名 ◆出席率 56.25%

◆結婚・誕生・入会祝い 1/22~1/28

【結婚祝】

江上徹也さん

【誕生祝】

野崎地平さん



◆ニコニコ箱

■柳龍一郎さん 長崎市まちづくり部 片江部長様、松尾室長様、本日はお忙しいところありがとうございます。

まちづくりのお話、楽しみにしております。

■山田孝二さん ニコニコのために。

■嶽本幸次さん ニコニコのために。



インドネシア「バリ島」へ難聴対策医療機器贈呈

2002年 長崎西RCを主提唱クラブにMatching Grant

2004年 ローター100周年・長崎西RC創立20周年記念事業



2001年、地区の国際奉仕部門研修セミナーにおいて、当クラブの江上会員がヒアリング・インターナショナル・ジャパン(HI-J)のプロジェクトを紹介。HIは耳鼻咽喉科の国際的NGO組織で、難聴の予防、治療、人材育成に貢献していた。この席で世界社会奉仕の新年度事業として、インドネシアにおける難聴対策を支援すべく、ロータリー財団同額補助金(Matching Grant)申請が承認された。インドネシア側の要望で贈呈施設は「バリ地域眼科耳鼻咽喉科医療施設」に決定し、実施国の共同提唱クラブ「バリタマンRC」の協力のもと、2740地区内43クラブの同意を得、24,927ドルの寄付を集めロータリー財団に送金。翌年2002年には倍額(同額をロータリー財団が補助)の49,854ドルが西RCに振り込まれ、難聴対策医療器具を購入し贈呈した。

2004年には、当クラブの創立20周年記念事業並びにロータリー100周年事業として、100万円を計上。前回と同じく「バリ州立感覚器病院(皮膚科が新設され名称変更)」に耳鼻科用のファイバースコープ一式その他を贈呈した。この再訪では、ロータリアン9名と家族1名の訪問団が結成され、近隣の耳鼻科専門医が参加した国立ウダヤ大学病院での、難聴に関するシンポジウムの中で贈呈式が行われ、江上会員も講演を行った。訪問団はロンボク島医療施設の視察、国立ろう学校の慰問、また、2002年に贈呈した医療機器の使用状況を確認し、不足分を補充した。バリ島の爆弾テロで難聴を来した人の大部分は、贈呈した機器の恩恵を受け聴力が回復し、機器の贈呈は難聴者の利益だけではなく、地元の若手医師の育成にも貢献した。

ニコニコ箱	目標 1,200,000円	1/24	16,000円	累計	508,538円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	1/24	14,000円	累計	134,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	1/24	12,000円	累計	136,000円

◆会長 柳 龍一郎 幹事 山田孝二 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202
 ◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
 ◆例会：【火】12時30分~13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000
 ◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：山崎雅之 ◆編集：事務局 中田久美子

卓 話

長崎市まちづくり部 部長 片江伸一郎さん
 長崎駅周辺整備室 室長 松尾 英幸さん
 「今後の長崎市のまちづくりについて」

